

## 雜 錄

**獨逸の投資防止關稅政策** (海外鐵鋼情報第四號鐵鋼協議會)(獨逸鑛業新聞(D. B. Z)1927年7月2日版抄譯) 經濟大臣ドクトル・クルチウス氏が、最近ハンブルヒに於ける講演に、獨逸の關稅改正の必用に關し爲したる演説は少なからず社會一般の注意を喚起したるものであるが該演説中には奇怪にも同問題に關し非常に必用なる他の一面、即ち、諸外國の通商政策が從來に比して著しく不親切なる傾向を生じ來りたる事實に對する必然的なる對抗政策を閉却した、政府は最近米國との交渉中にも、同國の投資防止政策に就て何等拒否の對度を取らなかつた如く認められる、殊に、議會は諸外國(就中已に如斯投資防止政策を行ひつゝある諸國)の投資、殊に替爲投資、並に販賣投資に對してはこれを防止すべき全權を政府に附與する所の、一の法律を制定すべしとさへ議決して居るに不拘政府は依然これを閉却しておつた。

國際經濟會議は廣汎に涉つて種々の問題を論議し、大なる貢獻を爲したものであるが、然し世界の多數の國々が他國の投資(實際でも又想像上の投資でも同様)を防止すべく種々の法律規定を設けておる事實は寸毫も變化を生じておらない、例へばスキツツランド、スペイン、南アフリカ、佛國、ポーランド、ベルギー、日本、北米合衆國、オーストリア、チェツクスロヴツクは輸出獎勵に基く投資に對して對抗的法律を定めておる、又投資に對する一般的防禦規定を定めた國としてはニューゼーランド、南アフリカ、濠洲、カナダ、大英國及北米合衆國、即ち只一つの取除を以て他は悉く大英國の領域に屬する諸國である、又所謂社會政策的投資に對して、特殊の法律を設けた國としては、オーストリア、チェツクスロヴツクである、又所謂運賃投資に對する對抗策を定めた國としては濠洲、ニューゼーランド、南アフリカ(部分的にはチェツクスロヴツク)である。

是等の所謂投資防止法を別としても多數の國々が他國よりする輸入を成べく困難ならしめ或は全く不可能ならしむる政策をとつておる、スペインの處置の如きは尤も顯著なるものである、又イタリー政府の如きは或短期間議會の審議を俟つことなしに政府は關稅を隨意に引上げる事が出来る事になつておる、即ち昨年夏の如きは同政府は主として獨逸の輸入を制限する政策として、活版用紙の關稅を2倍にしたのである、濠洲に於ても亦昨年獨逸のパイプの輸入に對して自由特別稅を設定した諸外國中に於て投資防止政策をとらぬ國としては、如斯ものゝ必用なき國々即ち自國の通貨暴落等の關係に依て輸入が自然に十分に制限されておるものである、其他諸國(例へば日本、スキツツランド、チェツクスロヴツクは一定の輸入制限法により)は其他の政策に依て投資の防止を可能ならしめておる此の場合殊に奇怪なるは他國よりする實際の若くは疑ある投資に對して對抗策を講ずる國々は自分自から好んで投資をなす國である、又投資防止の對稱國が主として獨逸である、例へば北米合衆國はそ

の生産物（例へば粉類及穀物）の輸出に對して明に販賣投資をなしてゐる。而もこの投資は他國の投資防止に對しては何等の遠慮をなして居ないのである。北米合衆國政府は、尙その上に議會に於て一の穀物輸出獎勵法を提案してゐるのである此の法は明に投資を外國に對して行ふことを前提としたものである。

凡ての此等の事柄に就てドクトル・クルチウス氏も亦熱心に彼を擁護する自由貿易主義の各新聞も、何事も云つておらぬ、又彼等は左の事實即ち我獨逸國は其通商條約若くは關稅政策に就て諸外國に比し、從來最も熱心に世界經濟關係を自由化せしむる事に努力した而もこれに對して乍遺憾他の諸外國はこれ迄追隨し來らなかつたことに就て、一言も費やさない、國際會議場に於ける演說が世界經濟の自由化並に圓滿化を交渉すればするほど世界各國は、その通商及關稅政策に於て益々保護政策的になる、今迄關稅障壁若くは他の通商防害政策が峻拒され終つた様な場合に於ては、それが何時でも殆んど取除けなく獨逸國の犠牲によつて出來たのである、此の事は我政府側の人々としては力強く高唱すべき事柄であらう。

故に獨逸は一面に於て他國との通商期間の繼續する限り、その國の希望に寛容なる態度を以て追隨して行きながら他の一面に於てはその外國の不斷の通商防害政策に對して何等自己防營策を講じない、獨逸の經濟政策は全く、自由政策的に出來上つておるといふ事實を別としても、一體獨逸の關稅定率法なるものが必要の場合に自己防營又は關稅戰爭をなすに對し不適當に出來てゐる。

只今日としては關稅定率法第十條によつて、防營策を講ずる外ないこの條項は獨逸の生産品に對して差別的に不利益なる取扱をなしたる國より輸入し來る有稅品に對しては定率表の關稅以外これに2倍する迄の追徵關稅又はその價格の全額に對する迄の追加關稅以外これに2倍する迄の追徵關稅又はその價格の全額に對する迄の追加關稅を課し得るといふのである此の規定は然しながら明かなる差別待遇に對してのみ行はれ得る事になつてゐるのである、その差別待遇といふことは普通之を證明する事が甚だ困難であるが故に實際としては殆んど從來實行された事がないのである、又此の十條を實行するに就ては取扱上甚だ手續が面倒である、何となれば先以て實行に先ち議會の協賛を得ておかなければならないといふ事である、又その上に甚だ不利益とされてゐるのは、それを實行した結果、場合によつてはその對手國と關稅戰爭を惹起すべき惧がある事である。

獨逸は如斯これ迄有力なる自營策を有せざりし結果明に損害を受けつつありしに不拘これを實行する事に就ては對外的考慮を拂はざるべからずと云へる、主張のために、常に防害されておつた。

之にも不拘諸外國は獨逸國に於て投資防止法の存在如何に頓着せず常に投資防止政策を以て進んで來た、ともかく獨逸は他國の非友情的なる通商政策上の行爲に對し何等の保護的或は防禦的方法をとらざりしに不拘、諸外國をして事實上の投資品若くは投資懸疑品峻拒政策（多くの場合明に獨逸を目標とした）を幾分にも差控へしめ得た國は只の一國もないのである、蓋し經濟提携主義の極端なる

共鳴者と雖も獨逸が此の場合一の有力なる猛進行動をなす事が結局として殊に力強く國際的經濟關係を圓滿ならしむる基たる事を了解して貰はねばならぬ、何となればたとひ投資防止政策をとり或は自から大規模の投資を行ふ如き國には從來かゝる政策をとらざりし對手國に於て同様の政策に遭遇すると雖も何等不滿をいふべきではないとしても、國際的提携といふ事に對して現在の如く何等の危険なしに彼等の行爲を恣にする場合に比して、一層明瞭にその提携の必用を感じる事になるのであらう。

茲に詳記する暇はないが、前記或はそれ以外の種々なる憂慮はかくすればなくなる即ち先に述べた關稅定率法第十條を改正すれば目的を達し得る。第十條は現在の如く、特殊の目的に當てたものとせず、寧ろ一般的の保護簡條となる様に改正されねばならぬ、英國の工業保護條例の様に只獨逸の輸出のみに差別的に、適用されるものでなく、寧ろ普通的に適用され、之によつて直接と間接とを不問根本的に投資に對抗する事が出來、それによつて亦外國の何等かの進歩のために困難を感じる各種の工業を保護し得る如きものとしなくてはならない、従つて條文の字句は次の如きものでなくてはならない、即ち、最惠國條款に牴觸せざること且字句の上から單にそれは保護と自衛政策上から作つたものであることが一目瞭然たり得る事を要する。尙十條の取扱手續は現在より一層簡略にされなければならない、之が爲めには例へば豫め洲委員の同意を得るといふ様な、規定を廢止することは、甚だ有效である、或は一の規定を設け、政府發布の規定は一定期間内に洲議員或は國會議員の事後承認を得ればよい、若し拒絶の場合には廢止されなければならない事にしてもよからう。

如斯單に自營的で且原則として能ふ丈世界經濟關係を圓滿にするといふ事は獨逸政府の完全に把持しておることで、經濟關係を害せざるは元より結局に於て効果ありと云ふを憚らない、何は措いても先第一に現状の繼續を打切るといふ事が諸外國の神經を強く刺戟するであらう、茲に至つて初めて眞價が表はれるのである、即ち現在有ゆる方面から獨逸を對稱として建てられておる政策は、理論上不合理でありそして恐らく打あけて云へば或國家例へば佛國の如きは獨り免許で、それを獨逸にのみ向けておつた「苦情」の時期は今や過ぎ去つて正により有效なる政策（國際提携）に移り變つて行く事を悟るであらう。

「Carnegie Beam Section」に就て (日本建築士創刊號拔萃) A New Series of Carnegie Rolled Steel Beam and Column Sections. A Noteworthy Step in the Evolution of Structural Steel Production, The American Architect March 5, 1927.

今年(1927)1月1日附カーネギー製鐵會社はパンフレットを發行して Carnegie Beam Section なる名の下に在來製品とは趣を異にした新しい斷面を有する一組の梁及柱材新製品の市場發賣をば公表した、之等新製品は斷面の形狀で大別して大凡そ41種、重量別に更に之を區別すれば各斷面を通じて總數167の種別になる、斷面デプスは最小8吋より最大16吋まで、重量は毎呎最小21lbsより最大305lbsまで即ち在來同社品に比して最大幅は此度7吋を増加し最大重量は16.5lbsを増して居る。此度改良せられた主なる點は第一に斷面の形狀、第二に斷面寸法に級數的の變化を與へた事、第三に斷

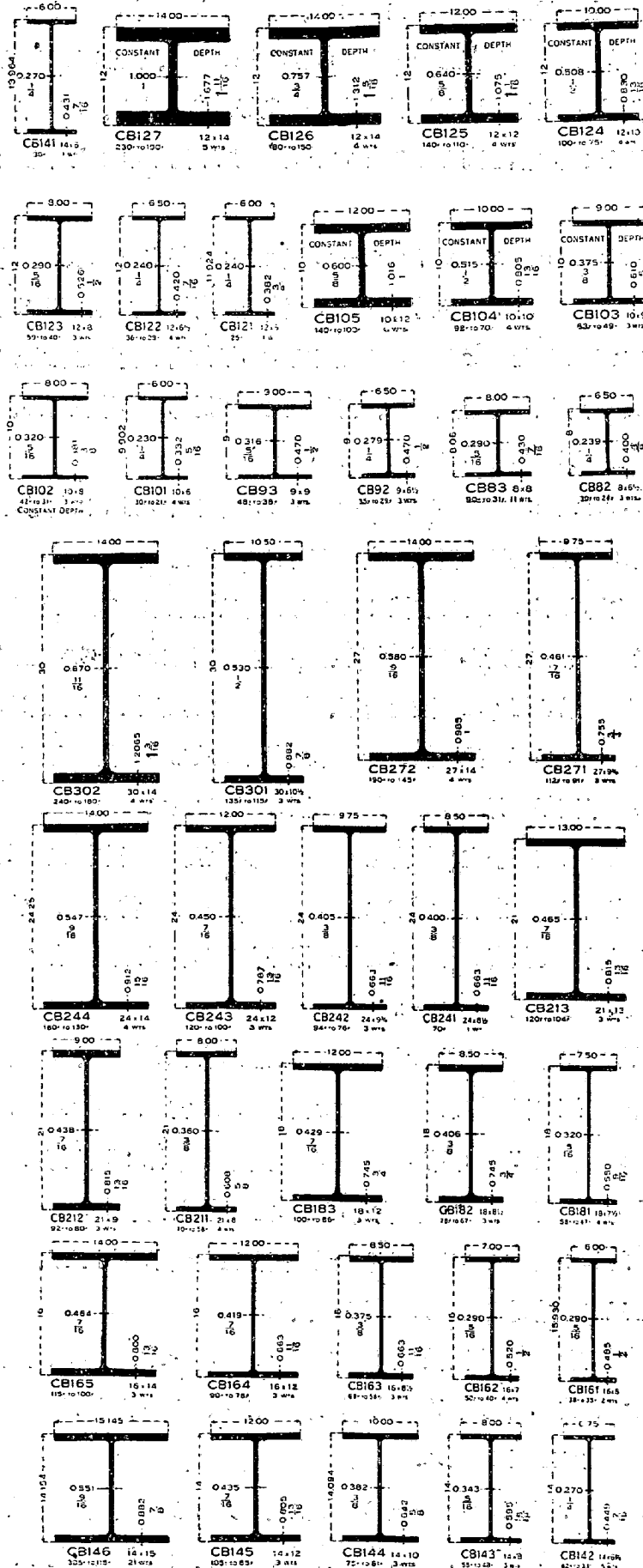
面に柱材として新特色を具へさせた事等で種々在來製品に缺けて居た勝れた特徴を有たせるに至つた。第一、斷面形狀の上の改良と云ふのは新斷面が一般的性質として柱梁材共にフレンヂの内側に傾斜を廢し端から端まで一樣の厚さに揃へられた事である、斯くする事に依つて製作も工作も共に非常に容易になり且又中軸より距離の近いフレンヂ中央部にては寧ろ厚さを減じ代りに距離の遠い兩端部に肉を増して強度の上にも少なからぬ増加を齎したのである、尙ほ之が爲に各種の材料を梁柱の何れにも流用する事が出來従てストックの種類も大いに減じ得られる利益が伴ふ様になつた、第二、此處に興味ある事は新斷面の丈いが大體幾何級數的に變化して居る事である、即ち各斷面は其丈いに於て約75%宛の増加を以て進んで居るのが認められる、此の斷面の計畫者は之に就て説明して之の丈いに級數的の變化をつけた事は一面から見れば強度が規則的に變化して居る幾列かの材料の組を随らへ上げた事になつて居て之は過大な材料の使用を餘儀なくされる憂を少なくし建物設計家にとり利する處が多いであらうと揚言して居る程である。第三、柱材に就いての新特徴の一はフレンヂの幅がデプス以上の長さを有する新型が出來た事である、在來としてもH型鋼に於て幅も丈いと等しいものあつた事は事實であるが此の度の新製品に於ては幅の方が寧ろ丈いよりも大になつて居るものがある、即ち70吋丈のもので12吋幅、12吋丈のもので14吋幅、14吋丈のもので15吋幅と云つた具合である、之は主としてH型の縦軸に對しての強度を顧慮しての事である、柱材に就ての新特徴の二はConstant depthに關して留意した事である、depthを等しく揃へて柱の一組を作る事は構造上耳新しい事ではなく、數年前もA. B. Co. Constant Dimension Columnsなる名の下に組立柱の一種がニューヨーク市場に現はれて人氣に投じて賞用せられて居たが此處に於ては之を本1の型鋼で試みたのである、之の利益は云ふ迄もなく高層建築の柱繼手、梁筋違その他の取付け工作上の簡易と鐵骨被覆仕上の均等々々枚擧する迄の事ではない、此度の新斷面にあつては此の斷面として10吋物及12吋物との二種あり、10吋物は重量毎呎31 lbs以上140 lbs迄、12吋物は75 lbs以上230 lbs迄、大約之を普通建物に都合よく應用し得たとして前者は12階分に使用出來後者は前者と並用する事に依り約18階分に使用出來る豫定であると言ふ。

新斷面が出來て暫しは不慣れの結果設計家は多少の不便は感ずるかも知れないが上述の諸點の如き割合合理的に仕組まれた斷面の事とて臆ては一般的に理解が届いて廣く慣用せられるに至る事と思ふ。

**英國經濟界大觀第四産業の内抜萃(1)** (海外商報 920, p 683.) 英國主要工業會社の整理、前項には1926年中の英國産業界の大體の経過を述べたのであるが、本項には同年中最顯著な傾向を示した主要工業會社の整理に付て一言することとする。

英國産業界の整理問題は、歐洲大戰終熄後の不況時代に入り、各種産業者間に提唱せらるゝこととなり、就中鐵鋼業關係會社間には、久しく其必要を力説せられたのである。併し各當業者間の特殊關係より満足なる結果を觀るに至らず、殊にアームストロング及ヴァイツカースの如き、關係小會社を支配

Carnegie Steel Beam Section



する親會社が相當の打撃を受け居るとの理由により、本問題も中々捗々しく進行しなかつた。然るに石炭罷業の結果、産業界の受けたる苦痛の僅少なからざるものあり、之が整理には各社とも考究する所ありたると、歐洲及米國の産業合同氣運の進行其成績良好なるに鑑み、1926年 後半に至ては、英國重要産業界に一段と整理改造の熱を高むることゝなつた。以下同年中の主要事項を略述することゝする。

ヴァイツカースとアームストロング ヴァイツカース會社は1925年末已に専門委員を設け、其資本改造計畫を決定し、資本金に對し 12,472,366磅を下らざる減資を斷行し、其内 8,210,322磅は普通株 1 磅を八志六片に切下げることゝしたのである。此計畫は1926年初期に實行されたが、續いて同社事業全體の組織改造を斷行し、新に總務部を設置し、別に特殊の部局即ち工業經營部、造兵部、造船部及會計部を置き、各其事項を管掌せしむることゝしたのである。

サーダブリュー・アームストロング ウィットウアース會社は、5月末に其計算を發表して財政上の缺損を曝露した。先之1925年に於ける同社損失額は殆ど 90 萬磅に達し、社債・3年期證券及借入金に對する利子 29 萬磅の支辨も不可能なる有様であつた。右は鐵鋼業一般の不況に基く外、其經營の宜しきを得なかつたと云ふ事も、亦斯かる不成績を招來せる原因となつたものと認めらる。殊に同社は關係事業に對しても、隨分思ひ切つた危険を冒し、行き過ぎた經營振りを發揮したのである。そこで同社は1926年愈々財政改造の必要に迫られ、財政専門家より成る一委員會を設置して、將來の方策を樹つることゝした。其結果同年12月開催せられた債權者會議に於て(一)社債及借入金元利支拂の5箇年延期(二)利益は社債及借入金利子支拂後尙餘剩あるにあらざれば資本損失に充當せざること(三)資本損失の整理は減資の方法により之れを爲すこと(四)流動資本を抵當として銀行より借入金をなす場合、現存社債に對する抵當權を侵害せざること等の條件を附し、一部債權者の破産申請ありたるも之を排して同社改造後の経過を監視することゝなつた。

其他の鐵鋼會社 鐵鋼業に關係せる他の大會社も、前記2會社と等しく石炭罷業の影響を直接の原因とし、又合同、改造の氣運に促がされて、相次で資本整理に當つたのである。

即ちポールドウインズ會社は 7 月中第一(5分5厘利附)優先株 25 萬磅に對する配當並1924年以來配當未濟であつた「B」(5分利)優先株の配當を可決したが普通株資本 4,154,155磅に對しては、1921年以來全く配當を行はなかつたのである。11月に至り同社は其資本を切下げ、収益能力との權衡を保たしめんとする目的を以て、諮問委員會の設置を公表した。

エツプ・ヴェール鐵鋼及石炭會社も同様の困難に遭遇しつゝあつたもので、同社は 8 分利證券 300 萬磅の所有者等に對して、其償還期限 1928 年 1 月 1 日を、1938年 1 月 1 日に延長する提案に同意を求むるの餘儀なき状態に立至つたのである。

其他の重要な資本改造計畫にはパルマース造船製鐵會社がある。同社は多年其資本に對し配當をなすことが出来なかつたものであるが、此計畫は普通株を 1 磅より 5 志に切下げ、同時に 918,080 磅

の價格に相當する新普通株を發行し、且つ5分利繼續的優先株20萬磅に對する配當未濟額は之を削除し、同株を7分5厘無繼續配當に変更せんとするに在つた。(以下省略)

鐵鋼業概況 1926年に於ける鐵鋼業は、戦後に於ける斯業の盛衰史に又一の陰鬱なる一章を附加したるもので、5月より12月初旬に至る10箇月半の間大部分の工場は全然其作業を休止し、鉄鐵及粗鋼の生産は殆ど見るべきものなき有様であつた。

諸工業中石炭罷業の影響を受けたる斯業の右に出づるものは無い、抑も鐵鋼業は燃料の豊富にして不斷なる供給を受くるにあらざれば、其事業の進行不可能なるものであるから、炭坑閉鎖の結果は靦面に此工業に影響を及ぼし、5月中124の熔鑛爐は閉鎖せられ、引續き事業を續行せる23工場中、10月末迄持續し得たるものは僅に5工場に過ぎなかつた。11月末に及び石炭の供給は確實となつたが、長期休業後に於ける工場の實狀は急速に其事業の再開を許さず、12月31日に於て熔鑛爐の作業現數は只78であつた。

右の如き狀勢であつたから、5月より11月に至る7箇月間に於ける鉄鐵生産總額は21萬噸で僅に4月中の生産額の3分の1に過ぎなかつた。併し鋼産額の割合は鉄鐵よりも稍多く、同期間の總生産額は45萬噸を算し、4月中生産額の3分の2に達した。で、右7箇月間に於ける生産減退の結果、1926年の總生産額を1925年に比するときは、鉄鐵に於て40%、鋼鐵に於て50%の減少となるが罷業前に於ける4箇月間の毎月生産率は1925年同期に於ける毎月生産率以上に上つて居るのであつて、殊に3月に於ては1920年以來の最高生産率を示さんとする狀勢を兆して居たのであるが、此囑望は間もなく勃發せる産業界の難局に因り、終に其實現を見るに至らなかつたので此罷業は1926年の鉄鐵生産額を過去76年間に於ける最低額たらしめ、又、鋼鐵生産額を21年間の最少額たらしめたのである。

年初に於ける好況と罷業後 1926年1月は生産増加以來の第5箇月目に相當し、同年の生産が實際増加すべしと云ふ有望なる事實を示したのである。此好況は3月まで繼續し、同月の鋼鐵生産額より推算して年額950萬噸、其輸出は又約500萬噸に達し、1924年5月以來の最高數額を示すものあるべしと豫想せられた。又鉄鐵3月の生産額は568,500噸を算し、1913年の平均月額よりは76%以下ではあつたが、是又1925年5月以來の最良成績で、熔鑛爐作業數は151を數へたのである。此好況の一因は疑もなく石炭罷業の見越増加で、購買者が生産の障碍たるべき難局の發生前に其供給を確實にせんと試みたる結果であつて、同様の活躍は又輸出入の上にも現はれて居る。即ち輸入は3月に於て258,500噸に増大して居る。されど石炭爭議の形勢不良は直に斯業に不利益なる反應を呈し、4月に於ける熔鑛爐作業數は147に減少した。

鐵鋼價格は、1926年の始に殆ど2年間繼續したる低落の後を承け、其最低限度に達したるが如く見えたのであるが、初4箇月間は尙少しく低落を續け、英國商務省の指數(1914年を100とす)に依れば、1月の指數118.8に對し、4月末には117.2となつて居る。此1月及4月の指數は一般商

品の程度よりも甚だしく下に在つたので、其後材料缺乏によりて價格は好氣配であつたが、其大部分は再び戻つて、同年に於ける平均價格は 1925 年よりも低落した。

次の統計は英國鐵鋼製造業者協會の調査に係り斯業の變遷を示すものである。

## 1926 年英國鐵鋼月別生産額

	各月末に於ける 熔鐵爐作業數	生 産 額	
		銑 鐵(千噸)	塊鋼及鑄鋼(千噸)
1920年平均月額	(a) 284	699.5	755.6
1925年同	(a) 141	519.7	616.4
1926年 1 月	144	533.5	640.4
同 2 月	146	502.0	703.8
同 3 月	151	568.5	784.1
同 4 月	147	539.1	661.0
同 5 月	23	88.8	45.7
同 6 月	11	41.8	34.5
同 7 月	7	17.9	32.1
同 8 月	6	13.6	52.1
同 9 月	5	12.5	95.7
同 10 月	5	13.1	94.2
同 11 月	7	12.7	97.5
同 12 月	78	98.0	319.3

備 考 (a) は其年に於ける平均數を示す。

右表に依り、1926年の初數箇月間の増進は明に看取せらるゝであらう。尙同年の實際生産額と1913年との比較は次の如くである。

	1926年(噸)	1913年(噸)
銑 鐵	2,441,500	10,260,300
鋼 鐵	3,560,400	7,663,900

輸入額の最高記録 1926 年 5 月より同年末に至る斯業の經過は、主に英國へ輸入せられたる材料移動の記録であつて、鐵及鋼を材料とする多數の工業が、其缺乏によりて殆ど中絶休業せんとする状態に在つたのを救済せんとしたのが即ち此輸入材料であつたが、此等の莫大なる輸入材料は主に半製品で、之に貯藏材料を併せて、製鐵及製鋼に關する各工業は、辛くも其事業を遂行することを得たのである。斯くて出來得る限り控目の輸出を爲しつゝ、同年後半を經過したのである。

右の如く外國鐵鋼輸入の増大したるは實に斯業の歴史に於て先例なきことで、斯かる事態の出現したる原因は勿論異例に屬することである。尤も前年に於ても此輸入増大の趨勢は大陸爲替相場低落の影響で、英國斯業者の競争不可能なる程の低價を以て繼承せられ、當時既に憂慮せられたる所であるが、此趨勢は 1926 年に入りても尙繼續して居たのである。併し 1926 年の輸入貿易が、前年に比して更に増加したのは、其大部分が疑もなく石炭罷業の爲であつたので、12月31日に於ける同年の鐵鋼輸入額を、1925年及1913年と比較すれば次の如くである。



輸 入 比 較

1926年	3,740,279 噸
1925年	2,709,715 "
1913年	2,230,955 "

輸 出 比 較

1926年	2,987,669 噸
1925年	3,731,096 "
1913年	4,969,225 "

されば鐵及鋼に於ける輸入噸數が輸出を超過するに至れるは、實に 1926 年が始めてである。併し輸入材料の總價額は輸出總價額の約 50 %で、英國へ輸入せられたるものは最其大多數が銑鐵又は半仕上鋼であつて、輸出は其精製品であつたのである。(此項續く)

**横濱正金銀行東京支店建築に使用の鐵材量** 本銀行支店は東京市日本橋區に大正 9 年10月起工し昭和 2 年 6 月竣成したる 6 階建の大建築物にして建坪壁心 624 坪、總 延坪 4,157 坪なり、之に使用せし鐵材の量は

鐵骨用鋼材 3,373 tons	鐵筋混凝土用鋼材 842 tons	合計 4,215 tons
------------------	-------------------	---------------

以上にして總延坪 1 坪當り 1.014 tons と算出さるべし。

**米國 U. S. Steel 會社々長逝く** 同會社社長エルバート・エチ・グゲーリー氏は 1 月ほど前心臟炎にかゝり、療養中のところ藥石效なく 15 日遂に逝去した。享年81。なほゲーリー氏の後繼者はまだ任命されないが、同氏の訃報傳はるも市場は殆ど平常と變らない。

**略歷** ゲーリー氏は 1846 年 10 月アメリカ、イリノイ州ホイートン附近の農場に生れホイートンカレッジおよびシカゴ大學で教育を受け 1867 年イリノイ州辯護士協會に加入し、次いでアメリカ大審院辯護士となつたが同氏の手腕は早くも郷黨の認むるところとなり間もなくホイートン市の市長に推薦された。その後イリノイ州デンベヂ郡の郡判事を勤めたが同氏はシカゴで辯護士を開業してゐた頃製鋼會社某々の顧問として活動したのが因となり、遂にゼー・ビー・モルガン氏に知られ、モルガン氏が同氏の手腕に信頼し 1898 年資本金 2 億弗の聯邦製鋼會社を組織する際これを援助したのが動機で遂にゲーリー氏は同會社の社長に推薦された。1901年同會社がカーネギー製鋼會社と合同して今日のコーポレーションを組織するに及びゲーリー氏は選ばれて同會社理事會の會長となり 33 萬の使用人と 1,612 工場を支配するにいたつたのである。ゲーリー氏は單に製鐵事業に盡力せるのみならず、教育の進歩にも貢献するところ少からずこれがため幾多のカレッジや大學から名譽學位を贈られた。又ヨーロッパ大戰當時 U. S. Steel 會社の態度は聯合國の勝敗に多大の關係を有したが、同氏の采配宜しきを得た結果聯合國の利益したところ莫大である。ために英米佛日諸國は争つて同氏の名譽を表彰した。因にゲーリー氏の趣味は社交及び美術工藝品の蒐集などであつた。

**米國製軌條** 鐵道事故の大部分がレールの善惡に起因する事は、最近の調査に依つて明白にされたので、鐵道省を初め主なる私設鐵道では、舉つて技術上最優良と目されてゐる 100 lbs レールを使用せんとする傾向にある、現にこの 100 lbs レールを使用し又使用する豫定區間となつてゐるものは、國際鐵道では滿鐵の奉天大連間朝鮮鐵道の新義州釜山間、内地では省線の東京附近電化線、東海道線及山陽線、明石下關間、私設鐵道では東京の京濱電鐵、大阪の新京阪電鐵、京阪電鐵、南海電鐵、

阪神、阪急電鐵等である。而して之等の需要に應ずる 100 lbs レールは、八幡製鐵所が鐵道省の新型になつて製造してゐるエー・アール・エーのエー型の外は概ね佛獨米の3國からの輸入品である、即ち朝鮮及滿鐵は前記八幡製鐵所の製品を使用し内地の省線は佛國のビー・エス型と、米國のテンネツシー會社製品及ルクセンブルヒのホルメター社製品を各輸入し、又私設鐵道側では大部分米國の前記テンネツシー社から供給を仰いで居る、即ち米國製 100 lbs レールは我國鐵道の大部分から需要されて居るものであるが、最近このテンネツシー會社製品の品質が粗惡で殆ど使用に堪へぬものがあるので、前記の鐵道業者から一齊にボイコットされて居る事實がある、即ち鐵道省が一昨年米國のテンネツシーから輸入した35哩分の 100 lbs レールの内、使用前に破損せるもの、或ひは使用後一ヶ月も経過せざるに數本が折れた事實があり、而もその折れ方は技術上最も忌まれて居る下首切れであつた爲め、當時既にテンネツシー製品に對する聲價は太しく疑はれるに至つたが、後これと相前後して、

一、關西某鐵道會社で輸入した15哩分のテンネツシー製品が全部毀損したる爲め、その後の取引を拒絶したる事實

二、阪和鐵道が80哩分(1萬 4,000 TS)をテンネツシー製品が品質が悪いといふので、同社との商談を中止し八幡製鐵所へ注文變へをしたといふ事實

三、同じくテンネツシー製品を使用して居る南阿の鐵道會社から、テンネツシー號は下首切れがあつて困る旨の紹介が2回に涉つて鐵道省に來て居る事實

等が相次いで判明した結果、テンネツシー品が品質粗惡にして大陸物に劣るといふ事は、今や疑ふ餘地なきに至つた、依つて鐵道省を初め前記諸鐵道では、今後米國品に對する注文は一切中止し、成るべく國産奨励の意味から八幡製鐵所の製品を使用する事になつた、従つて同製鐵所には 100 lbs レールの注文が殺到し、昨年12萬噸に比し今年は既に5月までに5萬噸の注文があるので、同製鐵所に於いても今後を期待して増産計畫を樹立すべく折角審議中であると。

### 英米7月中銑鋼生産高

	英	國	米	國
銑	645,000	5	2,951,000	
鋼	682,000	7	3,178,000	7

### 八幡製鐵所銑鋼生産高 (單位噸)

	銑	鐵	鋼	塊	鋼	材
昭和 2年 7月中	56,329		81,828		62,361	
〃 年累計	418,720		613,193		442,998	
前月比較	-1,972		-2,928		-3,484	

### 銑鐵市場在庫月報

昭和2年5月31日現在 三菱商事株式會社金屬部

市場	持主別			合計	前月比較
	生産筋 <sup>噸</sup>	問屋筋 <sup>噸</sup>	消費筋 <sup>噸</sup>		
東京	4,455	2,810	4,005	11,270	-2,409
橫濱	—	—	2,140	2,140	-1,330
名古屋	1,375	3,510	1,910	6,795	-940
大阪	3,120	16,900	16,500	75,490	-7,400
神戸		1,800	37,170		
門司	1,377	110	3,880	5,367	+216
長崎	—	—	358	358	-82
函館	—	50	210	260	+20
室蘭	19,702	—	—	19,702	+1,905
釜石	6,503	—	—	6,503	+535
兼二浦	19,853	—	—	19,853	-2,783
大連	28,610	370	475	29,455	+1,005
合計	84,995	25,550	66,648	177,193	
前月比較	-1,161	-5,292	-4,810	-11,263	
備考					
前年度同月	70,979	27,288	70,665	168,932	

### 銑鐵市場在荷品種別表

昭和2年5月31日現在 三菱商事株式會社金屬部

品種	京濱	名古屋	阪神	九州	滿鮮	北海道	其他	合計	前月比較
兼二浦	3,875	830	5,500	575	19,903	—	—	30,683	-5,751
釜石	—	110	1,450	—	—	—	6,503	8,063	+696
輪西	3,550	3,035	4,850	126	—	19,812	—	31,373	-3,754
漢陽	—	—	50	—	—	—	—	50	±0
鞍山	1,075	1,500	3,990	403	23,715	—	—	30,680	+930
本溪湖	720	770	28,550	1,220	5,360	—	—	36,622	+567
仙人	—	—	—	—	—	—	—	0	-8
揚子銑	—	—	1,000	—	—	—	—	1,000	-500
Cleveland	10	30	—	—	—	—	—	40	-140
Hematite	—	—	600	—	—	—	—	600	-200
Burn	1,000	130	4,900	3,020	250	—	—	9,300	-600
Swedish	—	—	50	60	—	—	—	110	+60
Bengal	—	—	3,050	—	—	—	—	3,050	-200
Tata	750	—	16,750	172	—	—	—	17,672	-2,563
雜	2,430	390	4,750	4,750	80	150	—	7,950	+140
合計	13,410	6,795	75,490	5,725	49,308	19,962	6,503	177,193	
	-3,749	-940	-7,400	+134	-1,778	+1,925	+535	-11,263	

## 鐵鐵市場在庫月報

昭和2年6月30日現在 三菱商事株式會社金屬部

市場	持主別	持主別			合計	前月比較
		生産筋	間屋筋	消費筋		
東京		3,276	3,055	5,498	11,832	+ 562
横濱		1,500	—	3,000	4,560	+ 2,420
名古屋		1,212	3,110	1,870	6,192	- 603
大阪		7,425	17,280	15,330	75,055	- 435
神戸			200	34,820		
門司		1,285	300	3,990	5,575	+ 208
長崎		—	—	175	175	- 183
函館		—	60	220	280	+ 20
室蘭		20,845	—	—	20,845	+ 1,143
釜石		5,722	—	—	5,722	- 781
兼二浦		7,434	—	—	7,434	- 12,419
大連		24,700	320	470	25,490	- 3,965
合計		73,402	24,325	65,433	163,160	
前月比較		- 11,593	- 1,225	- 1,215	- 14,033	
備考						
前年度同月		61,248	26,189	68,970	156,407	

## 鐵鐵市場在庫月報

昭和2年6月30日現在 三菱商事株式會社金屬部

品種	京濱	名古屋	阪神	九州	滿鮮	北海道	其他	合計	前月比較
兼二浦	2,206	1,380	5,715	778	7,554	—	—	17,633	- 13,050
釜石	390	230	1,550	—	—	—	5,722	7,892	- 171
輪西	2,507	1,272	5,700	175	—	20,965	—	30,619	- 754
鞍山	3,761	960	6,560	940	19,803	—	—	32,024	+ 1,344
本溪湖	660	950	28,350	557	5,297	—	—	35,814	- 808
淺野鉄	1,500	—	—	—	—	—	—	1,500	+ 1,500
漢陽	—	—	50	—	—	—	—	50	± 0
揚子鉄	—	—	800	—	—	—	—	800	- 200
Tata	803	—	13,300	80	—	—	—	14,183	- 3,489
Burn	1,900	300	5,900	3,090	200	—	—	11,390	+ 2,040
Bengal	—	710	2,100	—	—	—	—	2,810	- 240
Cleveland	75	—	—	—	—	—	—	75	+ 35
Hematite	—	—	400	—	—	—	—	400	- 200
Swedish	—	—	30	—	—	—	—	30	- 80
Luxembourg	—	90	—	—	—	—	—	90	+ 90
雜	2,590	300	4,600	130	70	160	—	7,850	- 100
合計	16,392	6,192	75,055	5,750	32,924	21,125	5,722	163,160	- 14,033
前月比較	+ 2,982	- 603	- 435	+ 25	- 16,384	+ 1,163	- 781	- 14,033	